

Oracle® Database

Companion CD クイック・インストール・ガイド

10g リリース 1 (10.1.0.2.0) for Microsoft Windows

部品番号 : B13747-01

原典情報 : B13692-01 Oracle Database Companion CD Quick Installation Guide, 10g Release 1 (10.1.0.2.0) for Windows

2004 年 4 月

このマニュアルでは、Oracle Database 10g Products および Oracle Database 10g Companion Products を Windows システムに短時間でインストールする方法について説明します。次の内容について説明します。

1. このマニュアルの概要
2. 管理者権限によるシステムへのログイン
3. Oracle Database 10g Products の要件
4. Oracle Database 10g Companion Products のインストール要件
5. Oracle Database 10g Products のインストール
6. Oracle Database 10g Companion Products のインストール
7. インストール後のタスク

1 このマニュアルの概要

このマニュアルでは、Oracle Database 10g Products および Oracle Database 10g Companion Products をデフォルトの設定でインストールする方法について説明します。

注意： このマニュアルでは、Oracle Database 10g Products および Oracle Database 10g Companion Products を、これらのソフトウェアがインストールされていないシステムにインストールする方法について説明します。すでにインストールされているシステムの場合、インストール手順の詳細は、『Oracle Database Companion CD インストール・ガイド』を参照してください。

これらの製品をインストールする前に、現在のシステムまたはアクセス可能なシステムのどちらかに Oracle Database 10g がすでにインストールされていることを確認してください。詳細は『Oracle Database インストール・ガイド』を参照してください。

ORACLE®

Copyright © 2004 Oracle. All rights reserved.

Oracle と Oracle のロゴは Oracle Corporation の登録商標です。Oracle® Database は、Oracle Corporation の商標です。記載されているその他の製品名および社名はその製品および会社を識別する目的にのみ使用されており、それぞれ該当する所有者の商標です。

Oracle Database 10g Products

Oracle Database 10g Products を Oracle Database 10g がインストールされているのと同じ Oracle ホームにインストールします。Oracle Database 10g Products には、次のものが含まれています。

- **Oracle Database Examples:** Oracle Database 10g の製品、オプションおよび機能の習得に使用できる豊富な例と製品デモ。これらの例の多くは、Oracle Database 10g データベースにオプションでインストールできるサンプル・スキーマと連動するように設計されています。Oracle 製品固有のドキュメント・ライブラリにあるドキュメントの多くは、Oracle Database Examples で提供されるサンプル・プログラムおよびスクリプトを使用しています。
- **JPublisher:** Java ユーティリティ。Java プログラム内で次のユーザー定義データベース・エンティティを表す Java クラスを生成します。
 - SQL オブジェクト型
 - オブジェクト参照型 (REF 型)
 - SQL コレクション型 (VARRAY 型または NESTED TABLE 型)
 - PL/SQL パッケージ
 - サーバー・サイド Java クラス
 - SQL 問合せおよび DML 文
- **Legato Single Server Version (LSSV) :** Legato Systems 社が開発したバックアップおよびリカバリ・アプリケーション。Oracle 製品向けの Legato NetWorker および Legato NetWorker Module のサブセットです。LSSV を使用すると、単一サーバー上でのみ Oracle データをバックアップおよびリストアできます。ファイル・システム、Automatic Storage Manager ディスク・グループまたは RAW デバイスに格納されている Oracle データのオンライン・バックアップまたはオフライン・バックアップを実行できます。
- **ネイティブ・コンパイル Java ライブラリ :** JAccelerator および Oracle *interMedia* Image Accelerator。これには、Oracle JVM および Oracle *interMedia* 用のネイティブ・コンパイル Java ライブラリ (NCOMP) が含まれています。プラットフォーム上でこの 2 つの製品のパフォーマンスを改善するには、これらのライブラリが必要です。
- **Oracle Text のナレッジ・ベース :** 英語とフランス語の 2 つの Oracle Text ナレッジ・ベース。提供されるナレッジ・ベースは、要件に応じて拡張できます。あるいは、英語とフランス語以外の言語で自分自身のナレッジ・ベースを作成できます。

Oracle Database 10g Companion Products

Oracle Database 10g Companion Products には、次のものが含まれています。

- **Oracle HTTP Server:** Apache HTTP Server をベースとする Web サーバー。Oracle HTTP Server は新規の Oracle ホームにインストールする必要があります。
- **Oracle HTML DB:** プログラマでなくてもデータベース集中型の Web アプリケーションを作成できるようにする、管理された開発環境。開発者にとっては、デスクトップ・データベースの生産性と Oracle データベースのセキュリティ、信頼性およびパフォーマンスが得られます。どのような IT 企業でも、Oracle 開発スキルを持った社員がいない部門向けに Oracle HTML DB 環境を管理できます。

Oracle HTML DB は Oracle HTTP Server の Oracle ホームにインストールする必要があります。これは既存の Oracle HTTP Server の Oracle ホームでも構いません。または、どちらか（あるいは両方）の製品をインストールする際に Oracle HTTP Server をインストールするよう選択することもできます。

このマニュアルで説明しないタスク

このマニュアルでは、次のタスクの実行方法は説明しません。

- Oracle HTTP Server が含まれている既存の Oracle ホームへの Oracle Database 10g Companion Products のインストール
- 移行の問題
- Oracle ソフトウェアの削除
- インストール後のタスク

追加インストール情報の入手先

このマニュアルでは説明しないタスクの情報を含め、Oracle Database 10g Companion CD の各製品の詳細は、『Oracle Database Companion CD インストレーション・ガイド』を参照してください。

このマニュアルは、製品ディスクに収録されています。アクセスするには、CD-ROM のトップレベル・ディレクトリまたは DVD-ROM の companion ディレクトリにある welcome.htm ファイルを Web ブラウザで開き、「ドキュメント」タブを開きます。

2 管理者権限によるシステムへのログイン

Oracle のコンポーネントをインストールするコンピュータに、Administrators グループのメンバーとしてログオンします。プライマリ・ドメイン・コントローラ（PDC）またはバックアップ・ドメイン・コントローラ（BDC）にインストールする場合は、Domain Administrators グループのメンバーとしてログオンします。

3 Oracle Database 10g Products の要件

Oracle Database 10g Products は既存の Oracle Database 10g ホームにインストールします。Oracle Database 10g Companion Products を既存の Oracle ホームにインストールする場合は、『Oracle Database Companion CD インストレーション・ガイド』を参照してください。

関連資料： Oracle HTML DB を既存の Oracle ホームにインストールする方法の詳細は、『Oracle Database Companion CD インストレーション・ガイド』を参照してください。

Oracle ホーム・ディレクトリのパスのチェック

1. 「スタート」→「プログラム」→「Oracle - HOME_NAME」→「Oracle Installation Products」→「Universal Installer」を選択します。
2. 「ようこそ」画面で「インストールされた製品」をクリックします。
「インベントリ」画面が表示され、システム上のすべての Oracle ホームと各 Oracle ホームにインストールされている製品が表示されます。
3. 「インベントリ」画面の各 Oracle ホームを開き、Oracle Database 10g リリース 1 (10.1.0.2.0) を検索します。
4. 「閉じる」をクリックし、次に「取消」をクリックして Oracle Universal Installer を終了します。
5. Oracle Database 10g Products で使用できるように Oracle ホームの名前を控えておきます。

必要なディスク領域のチェック

Oracle ホーム・ディレクトリを含むファイル・システムに、使用可能なディスク領域がシステム・ドライブに 100MB 以上、Oracle ホーム・ドライブに 530MB 以上あることを確認します。

4 Oracle Database 10g Companion Products のインストール要件

この項では、Oracle Database 10g Companion Products を新規の Oracle ホームにインストールする際の要件について説明します。

関連資料： Oracle HTML DB を既存の Oracle ホームにインストールする方法の詳細は、『Oracle Database Companion CD インストール・ガイド』を参照してください。

4.1 Oracle HTTP Server 要件

新規の Oracle ホームにおける Oracle HTTP Server のハードウェアおよびオペレーティング・システムの要件は次のとおりです。

Oracle HTTP Server ハードウェア要件

NTFS システムの場合、次のハードウェア要件を満たしている必要があります。

- 物理 RAM: 256MB 以上、512MB 推奨
- 仮想メモリー: RAM の 2 倍
- 一時ディレクトリ: 100MB のディスク領域
- Companion CD の各製品に必要なディスク領域

インストールする製品	システム・ドライブの ディスク領域	Oracle ホームの ディスク領域
Oracle HTTP Server	100MB	162MB
Oracle HTTP Server および Oracle HTML DB	80MB	535MB

FAT 32 システムの場合は、これより多少高い設定にします。

Oracle HTTP Server オペレーティング・システムおよびサービス・パック要件

次のオペレーティング・システムおよびサービス・パック要件を満たしている必要があります。

- Windows NT Server 4.0 Service Pack 6a 以上
Windows NT には、Windows NT Server 4.0、Windows NT Server 4.0 Enterprise Edition および Terminal Server Edition が含まれます。
- Windows 2000 Service Pack 3 以上
Windows 2000 には、Windows 2000 Professional、Windows 2000 Server、Windows 2000 Advanced Server、Windows 2000 Datacenter Server および Terminal Services が含まれます。
- Windows Server 2003 (32 ビット)
- Windows XP Professional: Oracle HTTP Server に対してサポートされます。

4.2 Oracle HTML DB 要件

Oracle HTML DB のハードウェアおよびオペレーティング・システムの要件は次のとおりです。

必要なディスク領域

必要なディスク領域は次のとおりです。

- ファイル・システム : 460MB 以上の空きディスク領域
- システム・ドライブ : 100MB

Oracle Database 要件

Oracle HTML DB には、Oracle Database 10g リリース 1 (10.1) または Oracle9i リリース 2 (9.2.0.3) のいずれかが必要です。Oracle Database は、Oracle HTTP Server のインストール先と同じシステムにインストールされている必要はありません。

Oracle HTTP Server 要件

Oracle HTML DB を実行するためには、Oracle HTTP Server にアクセス可能である必要があります。Oracle HTML DB を既存の Oracle ホームにインストールする場合、`mod_plsql` が組み込まれた Oracle HTTP Server リリース 9.0.4 以上を含む Oracle ホーム・ディレクトリがシステム上にあるかどうかをチェックします。次の製品の Oracle ホーム・ディレクトリは、この要件を満たしています。

- Oracle HTTP Server 10g
- Oracle Identity Management 10g (Oracle Application Server 10g の一部)

これらの要件を満たしていないシステムには、Oracle Database 10g Companion Products をインストールする際に Oracle HTTP Server 10g をインストールする必要があります。

Oracle XML DB 要件

Oracle HTML DB で使用するデータベースには Oracle XML DB を先にインストールする必要があります。インストール時に作成された、あるいは Database Configuration Assistant (DBCA) により作成された事前構成済データベースを使用する場合、Oracle XML DB のインストールと構成はすでに完了しています。

関連資料： Oracle XML DB を手動で既存のデータベースに追加する方法の詳細は、『Oracle XML DB 開発者ガイド』を参照してください。

5 Oracle Database 10g Products のインストール

Oracle Database 10g Products を既存の Oracle Database 10g リリース 1 (10.1) Oracle ホームにインストールするには、次のようにします。

1. Oracle のコンポーネントをインストールするコンピュータに、Administrators グループのメンバーとしてログオンします。

プライマリ・ドメイン・コントローラ (PDC) またはバックアップ・ドメイン・コントローラ (BDC) にインストールする場合は、Domain Administrators グループのメンバーとしてログオンします。
2. 環境変数 ORACLE_HOME があれば、これを削除します。環境変数の削除方法については、Microsoft オンライン・ヘルプを参照してください。

注意： 環境変数 ORACLE_HOME は自動的にレジストリに設定されます。この変数を手動で設定するとインストールが妨げられます。

3. 「Oracle Database 10g Companion CD Release 1 (10.1.0)」というラベルの CD-ROM を挿入するか、Oracle Database 10g リリース 1 (10.1) の DVD-ROM で Oracle Database Companion CD の場所に移動します。

ハード・ディスクからインストールする場合は、`setup.exe` をダブルクリックします。

インストール・メディアからインストールしている場合、Autorun 画面が自動的に表示されます。Autorun 画面が表示されない場合は、次のようにします。
 - a. 「スタート」→「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
 - b. 次のように入力します。

`DRIVE_LETTER:\autorun\autorun.exe`

「ようこそ」画面が表示されます。

注意： 追加情報が必要な場合は、「ヘルプ」をクリックします。

4. 「ようこそ」画面で「次へ」をクリックします。
5. 「ファイルの場所の指定」画面で次の操作を実行します。
 - a. 「ソース」では、インストールする製品を表すファイルへのパスをデフォルトのままにします。
 - b. 「インストール先」では、Oracle Database の Oracle ホームが指定されていることを確認します (デフォルトの Oracle ホームが設定されています)。
6. 「次へ」をクリックします。
7. 「インストールする製品の選択」画面で、「Oracle Database 10g Products」を選択して「次へ」をクリックします。
8. 「サマリー」画面で、インストールされる製品のリストを確認して「インストール」をクリックします。
9. インストールを完了後、「終了」、続いて「はい」をクリックして、Oracle Universal Installer を終了します。
10. インストール・プロセス中に作成された一時ファイルが必要なければ、`temp\OraInstall\date_time` ディレクトリを削除することもできます。`OraInstall\date_time` ディレクトリには、約 45MB のファイルが保持されます。

コンピュータを再起動した場合も、`OraInstall\date_time` ディレクトリが削除されます。

6 Oracle Database 10g Companion Products のインストール

Oracle Database 10g Companion Products を新規の Oracle ホームにインストールするには、次のようにします。

1. Oracle のコンポーネントをインストールするコンピュータに、Administrators グループのメンバーとしてログオンします。

プライマリ・ドメイン・コントローラ（PDC）またはバックアップ・ドメイン・コントローラ（BDC）にインストールする場合は、Domain Administrators グループのメンバーとしてログオンします。
2. 環境変数 ORACLE_HOME があれば、これを削除します。環境変数の削除方法については、Microsoft オンライン・ヘルプを参照してください。

注意： 環境変数 ORACLE_HOME は自動的にレジストリに設定されます。この変数を手動で設定するとインストールが妨げられます。

3. 「Oracle Database 10g Companion CD Release 1 (10.1.0)」というラベルの CD-ROM を挿入するか、Oracle Database 10g リリース 1 (10.1) の DVD-ROM で Oracle Database Companion CD の場所に移動します。

ハード・ディスクからインストールする場合は、`setup.exe` をダブルクリックします。

インストール・メディアからインストールしている場合、Autorun 画面が自動的に表示されます。Autorun 画面が表示されない場合は、次のようにします。

- a. 「スタート」→「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- b. 次のように入力します。

`DRIVE_LETTER:\autorun\autorun.exe`

「ようこそ」画面が表示されます。

注意： 追加情報が必要な場合は、「ヘルプ」をクリックします。

4. 「ようこそ」画面で「次へ」をクリックします。
5. 「ファイルの場所の指定」画面で次の操作を実行します。
 - a. 「ソース」では、インストールする製品を表すパスをデフォルトのままにします。
 - b. 「インストール先」には、新規の Oracle ホーム・ディレクトリの名前とパスを入力します（デフォルトの Oracle ホーム名が設定されています）。スペースを含むディレクトリ・パスは指定できません。Oracle Universal Installer によって新規のディレクトリが作成されます。
6. 「次へ」をクリックします。
7. 「インストールする製品の選択」画面で、「Oracle Database 10g Companion Products」を選択して「次へ」をクリックします。
8. 「使用可能な製品コンポーネント」画面で、「Apache Standalone」（Oracle HTTP Server）、「HTML DB」またはその両方を選択します。

注意： Oracle HTML DB を新規の Oracle ホームにインストールしている場合は、「Oracle HTTP Server」を選択する必要があります。

9. 「次へ」をクリックします。

10. 「HTML DB 構成情報の入力」画面で、Oracle HTML DB の構成に必要な情報を入力して「次へ」をクリックします。

Oracle HTML DB を構成するためには、Oracle Database に Oracle HTML DB データベース・オブジェクトをインストールする必要があります。Oracle9i リリース 2 (9.2.0.3) 以上のデータベースを選択してください。Oracle 10g データベースを使用する場合、インストール中に入力する情報を基に、データベース・アクセス記述子 (DAD) が mod_sql 構成ファイルに、ディレクトリ別名が Oracle HTTP Server 構成ファイルに、Oracle Universal Installer によって自動的に作成されます。ただし、Oracle9i リリース 2 (9.2.0.3) 以上のデータベース (Oracle 10g を除く) を使用する場合、これらの設定は手動で作成する必要があります。その手順は、『Oracle Database Companion CD インストレーション・ガイド』を参照してください。

Oracle HTML DB を構成するには、次の情報を指定します。

- **ホスト名**

データベースがインストールされているシステムのホスト名を指定します。ローカル・ホストの場合は、localhost ではなくコンピュータの名前を入力します。

- **ポート**

データベース・システム上の Oracle Net Listener の TCP/IP ポート番号を指定します。デフォルトのポート番号は 1521 です。

- **データベース・サービス名**

Oracle HTML DB データベース・オブジェクトをインストールするデータベースのデータベース・サービス名を指定します。通常、データベース・サービス名は、データベースのグローバル・データベース名 (sales.us.oracle.com など) と同じです。

- **SYS パスワード**

データベースの SYS ユーザーのパスワードを指定します。

- **HTML DB パスワード**

HTML DB スキーマ (ユーザー) に使用するパスワードを指定します。HTML DB スキーマ (ユーザー) は、インストール時にデータベース内に作成されます。

インストールが完了すると、このパスワードを使用して、Oracle HTML DB に ADMIN ユーザーとして接続できます。指定したパスワードは HTMLDB_PUBLIC_USER、FLOWS_010500 および FLOWS_FILES の各スキーマにも使用されます。HTMLDB_PUBLIC_USER スキーマは、データベースに接続するために mod_plsql で使用されます。

- **HTML DB パスワードの確認**

正しいパスワードを指定したかどうかを確認するために、パスワードを再入力します。

- **表領域名**

Oracle HTML DB データベース・オブジェクトをロードする表領域の名前を入力するか、デフォルト (SYS_AUX) を受け入れます。

11. 「サマリー」画面で、インストールされる製品のリストを確認して「インストール」をクリックします。
12. インストールの終了画面で、Oracle HTTP Server で使用される URL を控えておきます。

注意： Oracle HTML DB を新規の Oracle ホームにインストールしている場合は、「Oracle HTTP Server」を選択する必要があります。

13. 「終了」、続いて「はい」をクリックして、Oracle Universal Installer を終了します。
14. インストール・プロセス中に作成された一時ファイルが必要なければ、
temp¥OraInstalldate_time ディレクトリを削除することもできます。
OraInstalldate_time ディレクトリには、約 45MB のファイルが保持されます。
コンピュータを再起動した場合も、OraInstalldate_time ディレクトリが削除されます。

7 インストール後のタスク

Oracle HTTP Server および Oracle HTML DB のインストールが正常に終了した後、次の手順を実行します。

1. Web ブラウザで次の URL を開きます。

`http://hostname:port/pls/htmldb/htmldb_admin`

各項目の意味は次のとおりです。

- `hostname` は Oracle HTTP Server がインストールされているシステムの名前です。
- `port` は Oracle HTTP Server のポートです。

Oracle HTTP ポートの一覧は `portlist.ini` ファイルで確認できます。このファイルは Oracle HTTP Server の ¥install ディレクトリにあります。次に例を示します。

`¥ORACLE_BASE¥ORACLE_HOME¥install¥postlist.ini`

2. ユーザー名 ADMIN とインストール時に指定したパスワードを使用して、Oracle HTML DB にログインします。

データベース・オブジェクトを作成した時に FLOWS ユーザーに対して指定したパスワードを使用してください。

関連資料：

- Oracle HTML DB の使用、アプリケーション開発および管理の詳細は、『Oracle HTML DB ユーザーズ・ガイド』およびオンライン・ヘルプを参照してください。
- インストール後の必須および任意の手順は、『Oracle Database Companion CD インストレーション・ガイド』の「Oracle Database Companion CD のインストール後のタスク」を参照してください。

